

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



全日本シクロクロス 男子エリートの竹之内

	第20回 全日本シクロクロス選手権大会……………2
	2014全日本選手権オムニウム&マスターズ……………4
	新年のご挨拶……………6
	2014年 第20回日韓対抗学生自転車競技大会……………7
	アンチ・ドーピングに関するアンケート結果……………8
	2014世界室内自転車競技選手権大会……………9
	競技大会結果……………10
	日本代表選手団/日本新記録/今後の大会予定……………11
	男子エリート・ロードレースランキング……………12
	日本代表選手団/連盟の動き……………12
	2014年マウンテンバイク アジア選手権大会……………13
	2014年BMXアジア選手権大会……………14
	第45回 全日本室内自転車競技選手権大会……………15
	2014-15 UCIトラックワールドカップ第2戦……………16

**KEIRIN** 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。  
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING! プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGRING! (競輪)

## 第20回 全日本シクロクロス選手権大会

男子エリートは竹之内が優勝!



12月14日、小雪舞い散る中、宮城県村田町のスポーツランドSUGO国際モトクロスコースで、第20回全日本シクロクロス選手権大会が行われた。

朝9時に男子ジュニア7名がスタート、竹内、山田、織田の順に1周目に入る。1周完了時には山田、竹内の順でトップ2名が通過、それを織田、日野が追う。その後、竹内が単独スパート、2位の山田に1分半の差をつけ優勝した。

10時10分には女子11名がスタート、豊岡が先頭で1周目に入る。その後、豊岡先行のまま一時は武田が2位に上がるが、すぐに宮内が巻き返す。結局、豊岡が宮内に35秒差を付け、ナショナルチャンピオンの座を奪還した。

11時20分、昨年まではエリートと一緒に走っていた男子U23が独立して12名でスタート。シマノレーシング入りした横山が終始トップを走り、2位の

前田に1分50秒差を付けて、U23初代ナショナルチャンピオンとなった。

12時40分、最終レースの男子エリートが54名でスタート。竹之内が終始リードし、2位の門田に1分半の差をつけ、2011年以来の連勝を伸ばした。またハードなコースと、タイヤに纏わり付く重たい泥というコンディションの中、完走者7名という結果となった。



女子エリート序盤、豊岡が先頭を行く



男子U23 序盤、横山が先頭を行く



男子エリート竹之内



女子エリート豊岡



竹内が先頭で行く、男子ジュニアのスタート

**【競技結果】**

第20回全日本シクロクロス選手権大会  
(2014/12/14 宮城・スホー・ツラト SUGO)

**男子U1-1 (18.9km)**

- 1 竹之内 悠 京都 Veranclassic 59:15
- 2 門田 基志 愛媛 GIANT + 1:31
- 3 小坂 光 長野 ブリッツェン + 2:03



- 4 濱 由嵩 石川 Speedvagen + 4:16
- 5 山本 和弘 北海道 弱虫ハダル + 4:38
- 6 山本 聖吾 長野 スローリング + 4:43

**男子U23 (14.4km)**

- 1 横山 航太 長野 シムルーシング 47:46
- 2 前田 公平 東京 BIORACER + 1:48
- 3 中原 義貴 大阪 弱虫ハダル + 5:49



- 4 沢田 時 滋賀 ブリヂストンアンカー + 9:12
- 5 木村 吉秀 滋賀 JPST Massa + 9:25
- 6 山田誉史輝 長野 PAX Project -1lap

**女子 (10.8km)**

- 1 豊岡 英子 大阪 パナソニックレディース41:02
- 2 宮内佐季子 静岡 CHAINRING + 0:35
- 3 武田 和佳 埼玉 CHAINRING + 5:09



- 4 川崎 路子 静岡 Club viento + 6:38
- 5 鈴木美香子 東京 ckirin.com + 11:04
- 6 須藤むつみ 東京 Ready Go J. -1lap

**男子ジュニア (13.5km)**

- 1 竹内 遼 長野 WESTBERG 37:06
- 2 山田 将輝 長野 PAX Project + 1:33
- 3 日野 竜嘉 愛媛 松山聖陵高 + 2:45



- 4 織田 聖 埼玉 Bottles&Chains + 4:09
- 5 藤田 拓海 神奈川 横浜高校 + 7:20
- 6 齋藤 拓真 宮城 CHAINRING + 8:00

男子オムニアム優勝の窪木 (ポイントレース)



## 2014 全日本自転車競技選手権大会オムニアム & マスターズ

男子オムニアムは窪木が優勝!

11月22・23日、静岡県の伊豆ベロドロームで、2014全日本選手権自転車競技大会の「オムニアム」と「マスターズ」が開催された。

マスターズ大会は第1回ということもあり、参加選手数が今一つであったが、各年代別で初代チャンピオンが決定し、チャンピオンシャツが授与された。また各チャンピオンにはチャンピオンジャージ作成と着用の権利が与えられた。

またオムニアム大会は、昨年はJOCジュニアオリンピックカップと同時開催していたが、今回はマスターズ大会との併催となった。

上野が怪我で欠場のため8名の出走となったオムニアム女子は、塚越さくらがスクラッチ以外の全種目を制覇し、昨年に続いてチャンピオンジャージを獲得した。

19名参加のオムニアム男子は、昨年2位の一丸がスクラッチで落車し、波乱の幕開けとなった。結果的には昨年のチャンピオン橋本と3位窪木の熾烈な戦いとなり、4km個人追抜を日本記録に迫る4分30秒587で走った窪木が、14点リードして最終のポイントレースに突入。両者完全にお互いをマークするあまり、メイン集団にラップされそうな場面もある中、橋本が6点差まで追いつめたが、窪木が見事2014年チャンピオンに輝いた。

また次期女子オムニアム出場を鑑み、女子ジュニア強化選手の鈴木と梶原の、オムニアムタイムトライアル種目へのオープン参加があった。

男子オムニアム2位の橋本 (ポイントレース)



女子オムニアム優勝の塚越 (スクラッチ)



オムニウムTTとFL 1位の一丸(TT)



塚越(女子個人パーシュート)



女子オープンの鈴木(個人パーシュート)



女子オープンの梶原(個人パーシュート)

**【競技結果】**

2014 全日本自転車競技選手権大会オムニウム  
2014 全日本自転車競技選手権大会マスターズ  
(2014/11/22-23 静岡・伊豆パドドーム)

- 男子マスターズ 35-49歳 フライングタイムトライアル
- 1 水澤 耕一 東京 東京車連 11.988
- 男子マスターズ 50-59歳 フライングタイムトライアル
- 1 山本 哲也 静岡 伊豆 CSC 11.578
- 男子マスターズ 60-69歳 フライングタイムトライアル
- 1 羽鳥 浩 神奈川 12.852
- 女子マスターズ フライングタイムトライアル
- 1 濱田 真子 東京 湘南愛輪会 14.147
- 男子マスターズ 35-49歳 タイムトライアル
- 1 羽田野隆彦 東京 チームガッタ 1:11.233
- 男子マスターズ 50-59歳 タイムトライアル
- 1 高橋 秀樹 東京 伊豆 CSC 37.805
- 男子マスターズ 60-69歳 タイムトライアル
- 1 羽鳥 浩 神奈川 39.298
- 女子マスターズ タイムトライアル
- 1 和地 恵美 神奈川 スパ-K 40.309
- 男子マスターズ 35-49歳 個人パーシュート
- 1 羽田野隆彦 東京 チームガッタ 3:44.917
- 男子マスターズ 50-59歳 個人パーシュート
- 1 高橋 秀樹 東京 伊豆 CSC 2:29.133
- 男子マスターズ 60-69歳 個人パーシュート
- 1 尾崎 進久 静岡 伊豆 CSC 2:46.292
- 女子マスターズ 個人パーシュート
- 1 小沼美由紀 埼玉 ReadyGoJ 2:43.906
- 男子チームスプリント
- 1 伊豆 CSC 羽田野・高橋・山本 53.292
- 女子チームスプリント
- 1 ゴールデンスプリングス 小沼・和地 42.283
- 
- オープン女子ジュニア フライングラップ
- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高 15.650
  - 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸 15.957
- オープン女子ジュニア 500m タイムトライアル
- 1 鈴木 奈央 静岡 星陵高 38.289
  - 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸 39.118
- オープン女子ジュニア 3km 個人パーシュート
- 1 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸 3:51.842
  - 2 鈴木 奈央 静岡 星陵高 3:51.974



マスターズ男子チームスプリントの伊豆 CSC

**男子リトオムニウム**

順位	氏名	所属	チーム名	SH	IP	EL	TT	FL	PR	Total
1	窪木 一茂	和歌山	県教育庁	38	40	38	38	36	29	219
2	橋本 英也	岐阜	鹿屋体大	40	36	40	32	28	37	213
3	原田 裕成	岡山	鹿屋体大	36	34	36	30	26	31	193
4	吉田 隼人	奈良	パノ	32	32	32	26	20	22	164
5	一丸 尚伍	大分	EQA U23	1	38	28	40	40	-6	141
6	倉林 巧和	群馬	日本体大	34	14	34	18	34	5	139

**女子リトオムニウム**

順位	氏名	所属	チーム名	SH	IP	EL	TT	FL	PR	Total
1	塚越 さくら	鹿児島	鹿体大院	38	40	40	40	40	50	248
2	小島 蓉子	千葉	日体大院	40	36	38	38	38	46	236
3	中村 妃智	千葉	日本体大	36	38	36	34	34	46	224
4	齋藤 望	宮城	日本体大	32	32	32	36	36	9	177
5	江藤里佳子	大分	鹿屋体大	34	34	30	30	30	16	174
6	神庭 睦実	鳥取	順天堂大	26	28	34	26	28	3	145

## 新年のご挨拶



(公財)日本自転車競技連盟  
会長 橋本 聖子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より、皆様には自転車競技の普及振興活動へのご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本連盟は、本年、公益財団法人となり3年目、また1995年5月12日にプロ・アマ組織が合併して20年目を迎えます。さらに歴史を遡れば、アマチュア部門の前身となる日本サイクル競技連盟が1934年12月12日に発足し、80年を経て本年新たな“時”を迎えることができましたことを誠に喜ばしく思います。

昨今、日本においても多くの国際大会が開かれるようになってまいりましたが、ちょうど1年後の来年1月にはアジア選手権大会が8年ぶりに日本で開催することとなりました。この大会で行われる女子ロードレースの勝者国には8月に行われるリオデジャネイロ・オリンピックへの出場枠が与えられるという非常に重要な大会となっており、アジア各国から多数の参加が予想されます。大会開催を成功させると共に、アジア各国との友好を深める良い機会となることを期待しております。また、日本で5回目の開催となる今大会では、初めてアジアパラサイクリング選手権を同時開催することとなり、東京パラリンピック開催への良い足がかりとなることと思います。

さて、2020年東京オリンピック・パラリンピックもあと5年に迫って参りました。日本自転車競技連盟といたしましても、大会開催の成功そして地元開催でのメダル獲得という目標のために、引き続き競技役員のスキルアップ、選手の競技力向上など最大限努力していく所存でございます。どうか今後とも皆様方の倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして良き年でありませう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

### 国体女子種目決定のお知らせ(競技運営委員会より)

第71回国民体育大会(岩手県・2016年開催)より、女子種目の実施が決定いたしました。

ケイリン、スクラッチ、チームスプリントの3種目を実施します。参加資格等については今後、決定次第発表いたします。

<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/news/tabid/78/Default.aspx?itemid=2967> (日本体育協会ホームページ)

無限の夢へ、走りだそう。



**RING!RING!**  
**プロジェクト**

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで **RING!RING!** 検索

00

# 2014年 第20回日韓対抗学生自転車競技大会

日本選手団大差で勝利する!



第20回を迎えた日韓学生対抗自転車競技選手権大会が11月8日～9日、日本文化の宝庫ともいえる京都向日町競輪場で行われた。この大会は1995年にソウルで、日韓学連関係者の尽力で開催され、以後両国隔年で行われている。当初は親善大会であったが、第8回大会から国家対抗戦の形になり、本年はホスト国である日本選手団の活躍が期待された。両国とも男子大学生5名、男子高校生5名、女子学生5名計15名が選抜されて参加した。

更に本年8月、大韓民国光明市で開催された世界ジュニア選手権において、韓国は4個のメダルを獲得し、同大会では日本も女子ポイントレースで梶原が銀メダルに輝いた。万全を期するために高体連は、高校参加選手を招へいして合宿練習を行い大会へ臨んだ。

## 【大会初日】

午前中にライセンスコントロール、監督会議、開会式が行われた。12時30分からスプリント予選、競技は大学生、高校生、女子という順で進められる。大学生の部、日本からは野上竜太、奥村諭志（両者鹿体大）、韓国選手も2名が出場し計4名で行われた。野上が10秒976のタイムで1位通過。奥村は3位という結果であった。高校男子は太田竜馬（小松島西）が、大学生を含めてもトップタイムの10秒806で1位通過、南潤（和歌山北）は11秒387で4位通過であった。女子の部では韓国選手は全て高校生、日本は高校・大学の編成である。日本からは丸田京（法政大）と大久保花梨（祐誠）が出場したが、韓国に1、2位を独占された。特別ルールにより決勝以外は全て1本勝負という中で、スプリントは大学生の野上と奥村が金、銀。高校生は太田が金メダル、大久保が銀メダルという結果で終わった。

13時過ぎから行われた個人パーシュート大学生の部、近谷涼（日大）と小林泰正（日体大）が、それぞれ金と銀のメダル。高校男子も阿部将大（日出暘谷）と安田開（北桑田）で1、2位を独占する。女子は鈴木奈央（星陵）が1位、梶原悠未（筑波大坂戸）が3位で圧勝した。タイムトライアルは野上、堀航輝（鹿体大）が1位、2位。高校生は南潤が2位、坂本紘規（八戸工）が3位。女子はChoiがスプリントとダブル優勝した。

大会は各種目終了後直ちに表彰が行われ、競技役員も20名程度の少数精鋭でコンパクトな大会運営であった。

夕食時には第20回を記念して双方記念品が手渡され、両国の親睦を深めた。

## 【大会2日目】

朝からあいにくの雨模様である。アウトドアのバンクでレースができるのは世界的にも例が少ないようで、日本の競輪場には素晴らしいさを感じる。最初の種目はチームパーシュートで、選手たちは入念にウォーミングアップを行っていた。スタート号砲のあと日本チームにトラブルが発生し、再スタート。あろうことが再発走時も、日本チームは機材トラブルに見舞われ、失格となってしまった。チームスプリント男子高校生は、坂本・太田・南の短距離ベストメンバーで臨み韓国に快勝したが、女子チームスプリントは大久保・鈴木が善戦したものの0.1秒差で負けてしまった。ケイリンは両国から3名の選手が出走し6名で決勝を行ったが、偶然にも両国ともに大学生2名、高校生1名の顔ぶれとなった。デルニ誘導は地元競輪選手会から窓場加乃敏選手が行った。周回を重ねそれぞれライン戦となる中、最終バックでKIM Cheongsuが強烈なまくりを決めて快勝。堀が2着、高校生ながら阿部が3着と善戦した。KIMは高校1年生、4月から自転車競技を始めたばかりだという。雨が強くなるが女子スクラッチと男子ポイントレースが行われた。それぞれ全員のエントリーで、女子10名、男子20名の決勝戦である。短距離選手も走る中、力の差が歴然とする。女子スクラッチは5名が完走し、鈴木、梶原で1位、2位を決め、齋藤望（日体大）が4位。ポイントレースは小林、近谷、安田が1～3位を独占した。大きな違反行為や落車もなく無事に閉会式を迎え、日本94点、韓国54点と日本が圧勝した。

今回惨敗してしまっただが、韓国の高ギアには驚かされる。男子は後12および13T、女子は13、14Tを使用し、フロントギアで調整するという。他競技でも言えることであるが、勝ち負けにこだわる韓国選手のスピリッツは学ぶべきものであると感じた。また、次年度以降の大会について、高体連・学連の会議も持たれた。続いて韓国側とも話し合いが持たれたことで、活発な議論が交わされた。おわりに大会準備から運営に至るまで、開催地京都府関係者の方々のご尽力にお礼を言いたい。

（大会審判長 折本 裕樹）

## 【競技結果】

第20回日韓対抗学生自転車競技大会  
(2014/11/8-9 京都・向日町競輪場)

### 男子大学生スプリント

- 1 野上 竜太 鹿屋体育大学
- 2 奥村 諭志 鹿屋体育大学
- 3 KIM Kwango 佳泉大学校

### 男子大学生 1km タイムトライアル

- 1 野上 竜太 鹿屋体育大学 1:06.448
- 2 堀 航輝 鹿屋体育大学 1:06.971
- 3 KIM Kwango 佳泉大学校 1:09.904

### 男子大学生 4km 個人パーシュート

- 1 近谷 涼 日本大学 4:53.615
- 2 小林 泰正 日本体育大学 5:02.968
- 3 YANG Seng Oh 韓国體大 5:03.515

### 男子大学生 4km チームパーシュート

- 1 韓国 LEE, KIM, JO, YANG
- 2 日本 野上・堀・小林・近谷 失格

### 男子高校生スプリント

- 1 太田 竜馬 小松島西高校
- 2 KANG Seonguk 全羅高校
- 3 KIM Cheongsu 襄陽高校

### 男子高校生 1km タイムトライアル

- 1 KIM Jihun 蔚山東天高校 1:08.462
- 2 南 潤 和歌山北高校 1:08.963
- 3 坂本 紘規 八戸工業高校 1:09.079

### 男子高校生 3km 個人パーシュート

- 1 阿部 将大 日出暘谷高校 3:41.416
- 2 安田 開 北桑田高校 3:43.389
- 3 KIM Jihun 蔚山東天高校 3:43.789

### 男子高校生チームスプリント

- 1 日本 坂本・太田・南 1:18.560
- 2 韓国 KANG, KIM, KIM 1:19.873

### 男子ポイントレース (24km)

- 1 小林 泰正 日本体育大学 92p
- 2 近谷 涼 日本大学 85p
- 3 安田 開 北桑田高校 84p

### 男子ケイリン

- 1 KIM Cheongsu 襄陽高校
- 2 堀 航輝 鹿屋体育大学
- 3 阿部 将大 日出暘谷高校

### 女子スプリント

- 1 CHOI Seulgi 慶南進永高校
- 2 大久保花梨 祐誠高校
- 3 LEE Sangeun 全北體育高校

### 女子 500m タイムトライアル

- 1 CHOI Seulgi 慶南進永高校 37.224
- 2 NO Hyemin 慶北體育高校 37.471
- 3 鈴木 奈央 星陵高校 39.067

### 女子 2km 個人パーシュート

- 1 鈴木 奈央 星陵高校 2:39.504
- 2 KIM Bobae 全南美容高校 2:42.237
- 3 梶原 悠未 筑波大坂戸高 2:42.706

### 女子スクラッチ (6km)

- 1 鈴木 奈央 星陵高校 9:05.530
- 2 梶原 悠未 筑波大坂戸高
- 3 KIM Bobae 全南美容高校

### 女子チームスプリント

- 1 韓国 NO, CHOI 59.416
- 2 日本 鈴木・大久保 59.579

## 日本自転車競技連盟 アンチ・ドーピングに関するアンケート結果

日本自転車競技連盟 アンチ・ドーピング委員会

平素より、アンチ・ドーピング活動にご理解ならびにご尽力を頂きありがとうございます。日本自転車競技連盟アンチ・ドーピング委員会では、これまで加盟団体のご協力のもと、研修会の開催、大会でのアウトリーチブースでの教育啓発活動、冊子配布、ホームページならびに広報誌による情報提供など、選手・指導者の方々に対し様々な形で教育・啓発活動を実施してまいりました。2020年東京オリンピック・パラリンピックを前に、今後のアンチ・ドーピング活動の方向性を検討するために、加盟団体におけるアンチ・ドーピングに関する実態調査を行いましたので、ご報告致します。

(アンケート結果の掲載) アンケート送付数：51 団体、回答数：34 団体、未提出：17 団体

1. 日本自転車競技連盟(JCF)ならびに全日本実業団自転車競技連盟、日本学生自転車競技連盟等のアンチ・ドーピング講習会に貴連盟からどなたか参加したことがありますか。	①はい	②いいえ					
	12	20					
2. 貴加盟団体主体でのアンチ・ドーピング教育・啓発活動は実施していますか	①はい	②いいえ					
	20	11					
3. 2の設問で①はいの場合 どのような形式で実施していますか	①教材配布	②研修会開催	③web利用	④その他			
	15	6	0	4			
その他(都道府県主催研修会に連盟所属の指導者、選手が参加)(口頭連絡、注意)							
4. 2の設問で②いいえの場合	①実施を検討したことがない	②時間がない	③開催方法が分からない	④講師がいらない	⑤その他		
1) 実施していない(できない)理由は何ですか	4	3	1	2	2		
2) 今後実施をする予定はありますか	①予定している	②予定はない	③検討している	④その他			
	0	6	4	2			
5. ドーピングや薬に関する相談や問い合わせ先の案内は行っていますか	①はい	②いいえ					
	13	19					
6. 5の設問で①はいの場合どこに問い合わせますか	①JCF	②都道府県薬剤師会	③スポーツドクター	④スポーツファーマシスト	⑤JADA	⑥対応しない	⑦その他
	5	2	2	4	1	0	3

(県体協経由でJADAを案内している。国体時には県体協のスポーツドクターで対応している。スタッフ、コーチに確認を取っている)

## 7. アンチ・ドーピング活動についてのご意見

- ・JCFホームページの改善。メインメニューに掲載はあるが、競技者、指導者と分けて、分かるように図、写真、事例など項目別に掲載して欲しい。
- ・毎年の競技者登録案内時にアンチ・ドーピングに関する資料(ジュニアでも理解し易い)を配布していただきたい。
- ・チーム監督、コーチ、スタッフへの啓発、研修システムの整備を希望する。
- ・身近な問題として意識しづらく取り組みが出来ていない。国内外のアンチ・ドーピング情報を提供して欲しい。

上記のアンケート結果から、研修会の実施ならびにドーピングや薬に関する問い合わせ先の案内を行っている団体が、4割程度に留まっています。また、自由記載の意見には、本連盟のホームページの改善や資料提供に関する要望もあったことから、本調査結果を踏まえて、今後のアンチ・ドーピング活動を強化して行きたいと考えております。2014年度末も加盟団体と共催で講習会・研修会を開催する予定です。ホームページ等でご案内致しますので、ぜひ多くの方のご出席をお願い致します。特に2015年1月1日より世界アンチ・ドーピング規程ならびに日本アンチ・ドーピング規程が大幅に変更となりますので、ご留意ください。変更点につきましても、引き続きホームページにてご案内の予定です。

本アンケート調査に際しまして、ご回答ならびにご協力頂きました加盟団体にあらかじめ御礼申し上げますと共に、アンチ・ドーピング活動へのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 未成年者競技者親権者からのドーピング検査に対する『同意書』の取得について

2015年1月1日から施行される世界アンチ・ドーピング規程において、大会主催組織は未成年競技者の親権者からドーピング検査実施に関する『同意書』を取得することが求められました。

これにより、日本アンチ・ドーピング規程も変更され、同意書の取得が定められたことにより2015年1月1日から日本自転車競技連盟(JCF)は、ドーピング検査対象となる『20歳未満』のすべての該当競技者(JCF競技登録者)の親権者から同意書の取得が必要となりましたので手続きに関し、JCFホームページ及び下記にてご案内いたします。

## ●『同意書の提出方法』

- ・JCF 国内競技者登録申請時(継続・新規)もしくは取得が必要な大会前までに(大会要項に記載します)該当選手(親権者)から直接JCFへ同意書原本を郵送にて提出してください。
- ・提出先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5階 日本自転車競技連盟 アンチ・ドーピング担当 宛 「未成年競技者親権者同意書在中」と記載をお願いします。

## ●『同意書の書式、用紙の取得方法』下記、ウェブサイトから同意書の様式をダウンロードしてください。

- ・日本アンチ・ドーピング機構 [http://www.playtruejapan.org/code/members\\_form/](http://www.playtruejapan.org/code/members_form/)
- ・日本自転車競技連盟 <http://jcf.or.jp/>

上記以外にJCF国内競技者登録証発行時に記入用紙を同封予定。

- ・同意書は、親権者が変わらない限り一度取得すれば満20歳まで有効となります。
- ・未成年者競技者親権者同意書に関する件についてはJCFウェブサイト内でご確認ください。

# 2014 世界室内自転車競技選手権大会

## サイクルサッカー グループA 昇格ならず



2014年11月21～23日にチェコ・ブルノで世界室内自転車競技選手権大会が開催された。サイクルサッカーは村上裕亮・岡嶋紘次（RSV大阪1）が初出場。グループB7カ国中、2位という結果だった。サイクルフィギュアは男子シングルの部で芝山耕輔（VfH東京）が7回目、女子シングルの部で佐藤風沙（京産大）が6回目の出場。それぞれ21位、17位という結果となった。サイクルサッカーはグループB優勝を逃し、目標としていたグループA昇格はならなかった。

大会初日、村上・岡嶋は初出場ながら、落ち着いたゲームコントロールとパスワークで相手を圧倒。4戦全勝で初日を終えた。しかし大会二日目のスペイン戦では、開始早々村上の放ったシュートが甘く入り、カウンターから先制を許す苦しい展開。村上・岡嶋はチャンスを作るも、シュートがことごとくゴールポストに拒まれる。一方スペインは数少ないチャンスに着実に加算。最後まで追いつけず、2-4で敗戦。

結局スペインが全勝でグループBを制し、日本はグループA昇格の道を断たれた。

2009年以降グループB敗退が続き、グループAとの入れ替え戦に進出できていない現状は、重く受け止めなければならない。一方、村上・岡嶋のような新戦力の台頭は、近年における好材料である。新戦力を増強することがサイクルサッカーの底上げ、延いてはレベル向上につながることは自明である。日本サイクルサッカー界を挙げて、新戦力増強のための取り組みや、意識改革を行っていかなければならない。

サイクルフィギュアは佐藤・芝山ともに、世界選における自己最高点を更新。佐藤は比較的リラックスした状態で演技を開始。中盤の落車が響いたが、序盤・終盤は安定した演技を見せた。芝山は得意の力技に安定感が増した一方、技の移行動作で落車。しかしその後は落車を引きずることなく持ち直した。

両者とも世界選手権における自己最高得点を更新。特に精神面での成長を感じさせた。しかし一方で、順位はほぼ昨年と同等の結果となった。トッププレーヤーと比較すると、演技開始時の持ち点に大きな差があるのと同時に、減点にも大きな差がある。佐藤・芝山とも当初の持ち点から20～30点程度減点されている。一方、トッププレーヤーは減点が10点を切ることも珍しく

ない。日本国内のサイクルフィギュア界では、まだまだ競技人口が少ない一方で、小学生のプレーヤーが増える等、明るい材料もある。若い頃からの技の精度向上の意識付けを習慣化し、将来の得点力強化に繋げてほしい。

上記に挙げた以外にも課題は極めて多いが、今回出場した選手を中心に、サイクルサッカーはグループA昇格、サイクルフィギュアは順位の飛躍を至上命題とし、来年のマレーシア大会に向け前向きに取り組んでいきたい

（日本選手団 時倉 宗大）

### 【競技結果】

#### 2014 世界室内自転車競技選手権大会 (2014/11/21-23 日)

##### サイクルフィギュア男子シングル

1	NIEDERMEIER Michael	GER	202.55
2	PULS Simon	GER	187.51
3	WONG Chin To	HKG	170.96
21	芝山 耕輔	JPN	67.33

##### サイクルフィギュア女子シングル

1	CORINNA Biethan	GER	178.02
2	MATHIS Adriana	AUT	170.93
3	FRÝBORTOVÁ Nicole	SVK	164.97
17	佐藤 風沙	JPN	70.22

##### サイクルサッカー

1	RC HÖCHST 1	AUT	SCHNETZER Patrick / BRÖLL Markus
2	RS ALTDORF 1	SUI	SCHNEIDER Roman / PLANZER Dominik
3	FAVORIT BRNO	CZE	ŠMÍD Pavel / SKOTÁK Petr
8	RSV OSAKA 1	JPN (Bグループ 2位)	村上 裕亮・岡嶋 紘次

新しい翼で、世界の空へ。



**JAPAN AIRLINES**

member of oneworld

# 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

## 全日本学生個人ロード TT 自転車競技大会 (2014/11/2 埼玉・加須、羽生)

### 男子の部 (km)

- 山本 大喜 奈良 鹿屋体大 41:14.117
- 徳田 優 京都 鹿屋体大 41:49.582
- 池邊 聖 神奈川 慶應義塾 42:09.405
- 佐々木真也 神奈川 日本大学 42:27.292
- 浦 佑樹 東京 東京大学 42:49.367
- 樋口 峻明 神奈川 京都産大 43:00.601

### 女子の部 (25km)

- 坂口 聖香 兵庫 日本体大 39:00.178
- 齋藤 望 宮城 日本体大 39:30.860
- 江藤里佳子 大分 鹿屋体大 39:46.928
- 合田祐美子 岡山 早稲田大 40:06.428
- 神庭 睦実 鳥取 順天堂大 43:26.762
- 春原 美季 茨城 順天堂大 45:13.493

## 2014-15 UCIトラックワールドカップ 第1戦 (2014/11/8-9 メキシコ・グアダハラ)

### 男子スプリント

- GLAETZER Matthew AUS
- KENNY Jason GBR
- PUERTA ZAPATA Fabian Hernando COL
- 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本 1/16F 敗退
- 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島 1/16F 敗退
- 河端 朋之\* JPCA JPCU 岡山 予選敗退

### 男子ケイリン

- EILERS Joachim GER
- GLAETZER Matthew AUS
- PUERTA ZAPATA Fabian Hernando COL
- 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島 1回戦敗退
- 脇本 雄太\* JPCA JPCU 福井 1回戦敗退

### 男子ホムニアム

- LISS Lucas GER 192p
  - O'SHEA Glenn AUS 186p
  - LEA Bobby USA 179p
  - 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学 150p
- SH:12, IP:18(4:36.641), EL:10,  
TT:14(1:04.614), FL:12(13.239),  
PR:1(72p)

### 男子チームスプリント

- イギリス 43.092
- ドイツ 43.106
- ニュージーランド 42.769
- 日本 中川・渡邊・雨谷 43.922
- 日本(JPC) 河端・和田・脇本 44.737

### 男子チームパル・シュート

- オーストラリア 3:55.976
- イギリス 3:58.129
- スイス 3:57.867
- 日本 橋本・原田・窪木・倉林 4:06.068

### 女子スプリント

- VOINOVA Anastasiia RUS
- GUO Shuang MSP
- GUERRA RODRIGUEZ Lisandra CUB
- 前田佳代乃\* 京都 予選敗退
- 石井 貴子\* JPCA JPCU 千葉 予選敗退

### 女子ケイリン

- GUO Shuang MSP
- ZHONG Tianshi SLY
- MEARES Anna JAY
- 加瀬加奈子 JPCA JPCU 新潟 1回戦敗退
- 前田佳代乃 京都 JPC 1回戦敗退

### 女子ホムニアム

- D'HOORE Jolien BEL 193p
  - MEJIAS GARCIA Marlies CUB 183p
  - WOJTYRA Malgorzata POL 166p
  - 上野みなみ 青森 鹿屋体大学院 DNF
- SH:2, IP:18(3:43.259), EL:20

### 女子チームスプリント

- オーストラリア
- ドイツ DNS
- ロシア 32.585
- 日本(JPC) 石井・前田 34.499

### 女子チームパル・シュート

- イギリス 4:21.256
  - カナダ 4:26.122
  - 中国 4:23.911
  - 日本 上野・加瀬・小島・中村 4:38.348
- \*=JPC

### ツール・ド・おきなわ

#### (2014/11/9 沖縄・北部)

#### チャンピオンロードレース (210km)

- 増田 成幸 栃木 ブリッテン 5:30'00
- TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente チーム右京 5:30'35
- 入部正太郎 奈良 シムレーシング 5:30'37
- 鈴木 真理 栃木 ブリッテン 5:30'44
- 畑中 勇介 東京 シムレーシング 5:30'44
- 平井 栄一 神奈川 チーム右京 5:30'44

#### 女子国際ロードレース (100km)

- 金子 広美 三重 イナメ信濃 3:16:29
- 針谷千紗子 栃木 LiveGarden 3:20:49
- 大堀 博美 神奈川 UNO Racing 3:20:51
- 佐藤 咲子 神奈川 OPUS 3:20:51
- 松田百合子 神奈川 竹芝サイクル R. 3:20:51
- 米田 和美 北海道 ReadyGoJ. 3:20:58

#### ジュニア国際ロードレース (140km)

- MAAS Jan SouthWestHolland 4:11:56
- 北西 佳輔 和歌山 4:12:55
- 成海 大地 沖縄 普天間高校 4:12:55
- 孫崎 大樹 京都 4:14:31
- 竹村 拓 京都 北桑田高校 4:14:31
- 重満 丈 沖縄 4:14:31

### 伊豆国際 BMX

#### (2014/11/16 静岡・日本サイクルスポーツセンター)

#### 男子

- 長迫 吉拓 岡山 モトクロスインターナショナル
- 松下 巽 神奈川 早稲田大学大学院
- 吉村樹希 大阪 TOYO CREDIT R.
- 阪本 章史 大阪 DIATEC Products
- 吉井 康平 東京
- 古幡 陵介 埼玉 REDLINE

#### 女子

- アマタ・カー THA
- 島山 紗英 神奈川
- 朝比奈綾香 大阪
- 瀬古 遥加 三重 Groovy Factory
- 森内 愛香 大阪
- 滝口かりん 千葉

## 2014 第一回益田チャレンジアースステージ (2014/11/16 島根・益田・北仙道)

### U-23 (71km)

- 岡 篤志 EQA U23 1:50:56.58
- 清水 太己 EQA U23 1:50:57.24
- 小石 祐馬 VINI FANTINI 1:52:48.23
- 雨澤 毅明 那須 BLASEN 1:52:55.81
- 徳田 優 鹿屋体育大 1:53:20.95
- 黒枝 咲哉 鹿屋体育大 1:56:13.73

### U-19 (71km)

- 小山 貴大 EQADS 1:57:32.70
- 野本 空 松山工高 1:57:33.43
- 黒川 晴智 東岡山工高 1:57:37.66
- 北野 龍人 立命館大 2:00:41.65
- 岡部 祐太 広島城北高 2:00:43.63
- 平林 楓輝 松山聖陵高 2:01:45.18

### U-17 (71km)

- 日野 竜嘉 松山聖陵高 1:57:33.63
- 奥村 十夢 榛生昇陽高 2:04:33.65
- 岡本 篤樹 榛生昇陽高 2:04:37.44
- 三好憲士郎 榛生昇陽高 2:08:31.50
- 源田 真也 花園高 2:09:52.00
- 鈴木 史竜 JrIDE 2:11:47.94

## 第45回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ (2014/11/16 静岡・伊豆パルクロード)

### 男子スプリント

- 伊藤 信 京都 岩井商会レーシング
- 丸田 直 神奈川 湘南愛輪会
- 小林 清仁 山形 航空電子

### 男子1km タイムトライアル

- 下沖 功児 JPCA 湘南愛輪 1:05.224
- 奥平 充男 京都 岩井商会 1:07.182
- 湯浅 大輔 JPCA チームフェアロ 1:07.305

### 男子4km 個人パル・シュート

- 中村龍太郎 長野 イナメ信濃 4:49.324
- SALISBURY Paul 東京 イナメ信濃 4:52.050
- 林 航平 神奈川 TokyoVentos 4:53.211

### 男子ユース3km 個人パル・シュート

- 清水 大地 茨城 SUPER-K 4:15.265

### 男子ケイリン

- 皿屋 豊 三重 イナメ信濃山形
- 大村 慶二 東京 Team Logisty Jack
- 市川 英昭 神奈川 湘南愛輪会

### 男子スクラッチ (10km)

- 湯浅 大輔 JPCA チームフェアロ 13:11.23
- 羽田野隆彦 東京 Super-K Athlete
- 小清水拓也 神奈川 TOKYO VENTOS

### 男子ポイントレース (30km)

- 中村龍太郎 長野 イナメ信濃山形 46p
- 山田 哲治 高知 マリゴールド TT 31p
- SALISBURY Paul 東京 イナメ信濃山形 31p

### 男子チームパル・シュート

- イナメ 中村・北野・Salisbury・皿屋 4:36.989

### 男子チームスプリント

- 岩井商会 小谷・伊藤・奥平 49.406
- チームフェアロ 湯浅・河上・高橋 50.215
- TokyoVentos 小清水・柳沼・林 51.904

### 女子500m タイムトライアル

- 小坂 知子 JPCA 岩井商会 38.586

### 女子3km 個人パル・シュート

- 長澤 彩 JPCA 岩井商会 3:55.332

**関西シクロクロス大会 (UCI-2)**  
**(2014/11/23 滋賀・高島・マノ高原)**
**男子エリート (20.5km)**

1	BERTOLINI Gioele ASD	1:03:52
2	小坂 光 宇都宮ブリッツェン	1:04:00
3	山本 和弘 弱虫ハダシシクロクロス	1:04:07
4	小坂 正則 スワローシグチーム	1:06:08
5	濱 由嵩 SPEEDVAGEN	1:06:28
6	合田 正之 cycleclub3UP	1:07:34

**女子エリート (14.7km)**

1	ARZUFFI Alice ASD	47:47
2	宮内佐季子 CHAINRING	49:14
3	與那嶺恵理 saxobank FX	50:25
4	武田 和佳 CHAINRING	54:28
5	坂口 楓華 パナニックレィース	55:17
6	上田 順子 関西タム部/獣遊	56:20

**U23 (20.5km)**

1	中原 義貴 弱虫ハダシシクロクロス	56:06
2	横山 航太 SHIMANO Racing	56:30
3	小橋 勇利 JPST MASSA	56:40
4	前田 公平 BIORACER	57:27
5	沢田 時 チームブリヂストンカー	57:46
6	山田誉史輝 PAX PROJECT	59:58

**信州シクロクロス・野辺山高原ラップ 1**  
**(2014/11/29 長野・野辺山)**
**男子 (20.2km)**

1	BERTOLINI Gioele ASD	1:01:04
2	JOHNSON Timothy Cannondale	1:01:45
3	山本 和弘 弱虫ハダシシクロクロス	1:03:13
4	竹之内 悠 Veranclassic	1:03:58
5	小坂 光 宇都宮ブリッツェン	1:04:23
6	横山 航太 Shimano Racing	1:04:28

**女子 (12.7km)**

1	ARZUFFI Alice Maria ASD	45:37
2	豊岡 英子 パナニックレィース	48:37
3	宮内佐季子 CHAINRING	49:36
4	武田 和佳 CHAINRING	52:02
5	相野田静香 club grow	-2laps
6	川崎 路子 CLUB viento	-2laps

**信州シクロクロス・野辺山高原ラップ 2 (UCI-2)**  
**(2014/11/30 長野・野辺山)**
**男子 (20.2km)**

1	BERTOLINI Gioele ASD	59:21
2	MCDONALD Zach CX Project	1:00:09
3	山本 和弘 弱虫ハダシシクロクロス	1:00:27
4	竹之内 悠 Veranclassic	1:00:42
5	横山 航太 Shimano Racing	1:01:03
6	小坂 光 宇都宮ブリッツェン	1:01:33

**女子 (12.7km)**

1	ARZUFFI Alice Maria ASD	44:57
2	宮内佐季子 CHAINRING	47:21
3	豊岡 英子 パナニックレィース	47:39
4	相野田静香 club grow	49:14
5	今井 美穂 CycleClub.jp	50:41
6	武田 和佳 CHAINRING	51:44

**2014-15 UCIトラックワールドカップ Class 1**  
**(2014/12/5-7 ｲｷﾞﾘｽ・ロンドン)**
**男子ポイントレース**

1	TERUEL ROVIRA Eloy ESP	43p
2	DE KETELE Kenny BEL	34p
3	SEPULVEDA Eduardo ARG	31p
4	倉林 巧和 群馬 日体大大学院	30p
17	原田 裕成 岡山 鹿屋体育大学	-14p

**女子スクラッチレース**

1	SALCEDO ZAMBRANO Jannie Milena COL	
2	STEPHENS Lauren USA	
3	PAWLOWSKA Katarzyna POL	-1 lap
14	小島 蓉子 千葉 日体大大学院	-1 lap
	中村 妃智 千葉 日本体育大学	DNF

**女子ポイントレース**

1	CURE Amy AUS	34p
2	GLAESSEER Jasmin CAN	33p
3	BARKER Elinor GBR	27p
21	小島 蓉子 千葉 日体大大学院	0p

●同時開催のワールド杯リザルトはP.16参照

**タスマニア スポーツ カーニバル**  
**日本代表選手団**

大会名 2014-2015 タスマニアスポーツカーニバル  
 開催場所 オーストラリア・タスマニア州  
 開催期間 2014年12月26日～2015年1月2日  
 派遣期間 2014年12月24日～2015年1月4日  
 代表選手団

スタッフ 飯島 誠 トラック中距離ヘッドコーチ  
 吉井 功治 強化支援コーチ  
 森 昭雄 強化支援スタッフ  
 奥隅 信幸 強化支援スタッフ  
 村田 正洋 情報科学スタッフ  
 選手 窪木 一茂 和歌山・和歌山県庁/チーム古京  
 倉林 巧和 群馬・日本体育大学大学院  
 一丸 尚伍 大分・EQA U23  
 近谷 涼 富山・日本大学  
 原田 裕成 岡山・鹿屋体育大学  
 橋本 英也 岐阜・鹿屋体育大学



# 日本新記録 Japan New Record

**■ スタンディングスタート**

・ 4km 団体

男子エリート 4'06"068 日本 (橋本英也、原田裕成、窪木一茂、倉林巧和) 2014/11/07 メキシコ・グアダハラ

**■ 女子チーム・スプリント**

・ 250m × 2

女子エリート 34"499 JPC (前田佳代乃、石井貴子) 2014/11/07 メキシコ・グアダハラ

**今後の大会予定**

期日	大会名	種目	場所
2015 1月17日～18日	2014～15 UCIトラックワールドカップ第3戦	TR	コロンビア/カリ
1月18日	2015 東京都 個人ロードタイムトライアル大会 (2016年アジア選手権リハーサル大会)	RR	東京/大島パーマライン
1月31日～ <sup>2/1</sup> 日	UCI世界選手権大会-シクロクロス	CX	チェコ/タボール
2月4日～16日	第35回アジア自転車競技選手権大会	TR/RR	タイ/ナコンラチャシマ
2月4日～16日	第22回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会	TR/RR	タイ/ナコンラチャシマ
2月4日～16日	第3回アジア・パラサイクリング選手権大会	PARA	タイ/ナコンラチャシマ
2月18日～22日	2015年UCIトラック世界選手権大会	TR	フランス/パリ
3月8日	第九回明治神宮外苑大学クリテリウム	RR	東京/明治神宮外苑
3月15日	九州チャレンジサイクルロードレース	RR	熊本/五木
3月19日～22日	全国高校選抜大会	TR/RR	熊本/熊本・山鹿
4月5日	第40回チャレンジサイクルロードレース大会	RR	静岡/日本サイクルスポーツセンター
4月11日～12日	全日本選手権自転車競技大会-トラック	TR	静岡/伊豆ベロドローム

## 男子エリート・ロードレースランキング 2014/1/1-12/31

順位	名前	所属	TUJ	TUJ	能野	能野	ア/7選	ア/7選	全日本	全日本	生島島	T北海道	T北海道	T北海道	全日本	世界選	ア/7大会	世界選	ア/7大会	Japan	ア/7大会	合計	
			総合	2 St	総合	3 St	IT	0-1*	IT	0-1*	0-1*	総合	1 St	2 St	実業団	IT	IT	0-1*	0-1*	Cup	0-1*		
			2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014	2014		
			5/18-25	5/20	5/29-6/1	6/1	5/29	6/1	6/27	6/29	9/07	9/13-15	9/13-15	9/13-15	9/21	9/24	9/27	9/28	9/29	10/19	11/9		
1	佐野 淳哉	栃木						11	80											3		94p	
2	増田 成幸	栃木	6						8												3	40	57p
3	井上 和郎	福井							56													56p	
4	宮澤 崇史	JPCA		2						30								15				47p	
5	入部 正太郎	奈良							16		4				7							16	43p
6	山本 元喜	奈良						6	32														38p
7	内間 康平	沖繩										16	5		10							6	37p
8	別府 史之	JPCA						16	7							7				4		34p	
9	畑中 勇介	東京							12						4							10	26p
10	清水 都貴	JPCA							24														24p
11	土井 雪広	山形							20														20p
12	西谷 泰治	愛知	4						5														19p
13	窪木 一茂	和歌山										12		5									17p
14	鈴木 真理	栃木																				12	12p
14	中根 英登	愛知			12																		12p
16	平井 栄一	神奈川																				8	8p
17	早川 朋宏	愛知							6														6p
18	阿部 嵩之	北海道						5															5p
18	吉田 隼人	奈良				2			3														5p
20	岡 篤志	茨城						4															4p
21	寺崎 武郎	福井												2									2p
21	大場 政登志	茨城						2															2p

### 2014 日韓対抗学生自転車競技大会 日本代表選手団

大会名 2014 日韓対抗学生自転車競技大会  
 開催場所 京都・向日町競輪場  
 大会期間 2014 年 11 月 8 日～ 9 日  
 派遣期間 2014 年 11 月 7 日～ 11 月 9 日  
 代表選手団  
 スタッフ

団長 大館 健司 全国高体連自転車競技専門部・部長  
 副団長 井関 康正 日本学生自転車競技連盟副会長  
 監督(大学) 三宅秀一郎 日本学生自転車競技連盟強化普及委員長  
 監督(高校) 橋本 文一 大分県立日出暘谷・日出総合高校教諭  
 監督(女子) 大野 直志 青森県立八戸工業高校教諭

男子(大学)

奥村 諭志 岡山・鹿屋体育大学  
 近谷 涼 富山・日本大学  
 野上 竜太 岡山・鹿屋体育大学  
 堀 航輝 香川・鹿屋体育大学  
 小林 泰正 群馬・日本体育大学

男子(高校)

坂本 紘規 青森・八戸工業高校  
 太田 竜馬 徳島・小松島西高校  
 南 潤 和歌山・和歌山北高校  
 阿部 将大 大分・日出暘谷・日出総合  
 安田 開 京都・北桑田高校

女子

丸田 京 東京・法政大学  
 齋藤 望 宮城・日本体育大学  
 梶原 悠未 埼玉・筑波大坂戸高校  
 鈴木 奈央 静岡・星陵高校  
 大久保花梨 福岡・祐誠高校

### 2014-2015 UCIトラックワールドカップ第2戦 日本代表選手団

大会名 2014-2015 UCIトラックワールドカップ第2戦  
 開催場所 イギリス・ロンドン  
 大会期間 2014 年 12 月 5 日～ 7 日  
 派遣期間 2014 年 12 月 1 日～ 9 日  
 代表選手団

監督 坂本 勉 短距離ヘッドコーチ  
 コーチ 飯島 誠 中距離ヘッドコーチ  
 メカニック 森 昭雄 強化支援スタッフ  
 斉藤 健吾 強化支援スタッフ  
 マッサージ 柳 浩史 強化支援スタッフ  
 中山 真臣 強化支援スタッフ  
 奥隅 信幸 強化支援スタッフ

スタッフ 村田 正洋 情報・科学スタッフ

選手 中川誠一郎 JPCA・JPCU 熊本  
 渡邊 一成 JPCA・JPCU 福島  
 雨谷 一樹 JPCA・JPCU 栃木  
 河端 朋之\* JPCA・JPCU 岡山  
 脇本 雄太\* JPCA・JPCU 福井  
 和田真久留\* JPCA・JPCU 神奈川  
 窪木 一茂 和歌山・和歌山県庁 / チーム右京  
 一丸 尚伍 大分・EQUA23  
 原田 裕成 岡山・鹿屋体育大学  
 倉林 巧和 群馬・日本体育大学大学院  
 前田佳代乃\* 京都  
 石井 貴子\* JPCA・JPCU 千葉  
 加瀬加奈子 JPCA・JPCU 新潟  
 塚越さくら 鹿児島・鹿屋体育大学大学院  
 中村 妃智 千葉・日本体育大学  
 小島 啓子 千葉・日本体育大学大学院

\* = JPC

### 連盟の動き (11月中旬～12月下旬)

11月12日 ロード U23 強化合宿  
 15日 2014 年 室内自転車世界選手権大会  
 23日 第 6 回トラック中距離強化合宿  
 24日 第 7 回トラック短距離強化合宿

12月3日 ロード U23 強化合宿  
 5日 第 3 回選手強化本部会  
 10日 第 4 回ロード競技部会  
 16日 第 7 回トラック中距離強化合宿  
 24日 第 8 回トラック短距離強化合宿

於：島根・益田・東京・国立スポーツ科学センター (～11/19)  
 於：チェコ共和国・ポドバ 帰国→11/25  
 於：静岡・伊豆ペロドローム (～11/27)  
 於：静岡・伊豆ペロドローム (～11/27)  
 於：埼玉・東松山 (～12/7)  
 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室  
 於：東京・自転車総合ビル 6 階会議室  
 於：静岡・伊豆ペロドローム (～12/20)  
 於：静岡・伊豆ペロドローム (～12/27)

## 2014年マウンテンバイク アジア選手権大会

DHI 末政 12 回目のアジアチャンピオン!



末政 実緒

インドネシア 南スマトラ島 ルブック リンガウで、2014年MTBアジア選手権大会が開催された。

大会1日目の10月31日には、XCR(チームリレー)とDHIのタイムドセッションが開催された。XCRは第1ライダーに武井亨介、第2ライダーに與那嶺恵理、第3ライダーに中島峻歩、最終ライダーに平林安里でエントリーを行った。

朝から時折降る雨により、コースは大変滑りやすく難しいコースとなり、4人全員のパワーとテクニックの平均値が勝敗のポイントとなる。

第1ライダーの武井はきっちりと先頭でバトンを與那嶺に渡したが、與那嶺はブレーキトラブルが起きてしまい、ペースを上げられないままに、インドネシア・中国に続いて3位で中島へ。中島は前半にパンクをしてしまい、テクニカルフィードゾーンでホイール交換を行い、最終ライダーの平林に期待を託した。平林は好走し、4位から一気に2位までジャンプアップしてゴールを切った。

午後のタイムドセッションは、男子エリートに清水一輝、女子エリートに末政実緒がエントリーした。清水はパンクをしてしまい力を発揮できなかったが、末政はきっちりと走り、トップで明日の決勝を迎える。

大会二日目はDHI競技が開催された。早朝に雷を伴う大雨が降りコースは大荒れとなったが、競技時間が午後ということもあり、決勝に向けてコースが好転したことはすべてのライダーにとってプラスとなった。

コースは1.5キロ標高差271mで、亜熱帯の森の中で開催された。エリー

ト女子優勝候補の末政実緒は、前半でパンクもあったがきっちりと走りきり優勝した。

エリート男子の清水一輝は昨日のパンクの影響もあって、大切に走った結果1秒差の2位にとどまった。

最終日はXCOが開催された。1周4.3キロのコースをジュニア女子3周、ジュニア男子4周、エリート女子5周、エリート男子6周+各クラススタートループで争われた。

コースは滑りやすいジャングルの中に作られ、岩が多く登りもきついのプラスして、高温多湿の気候もありテクニックと体力のレベルが、結果にダイレクトにつながる難しいレースとなった。

ジュニア男子は平林安里がスタートから独走し、ぶっちぎりで優勝。山田将輝はきっちりと走りきり3位。

ジュニア女子は中島峻歩がよく粘り2位でゴール。

エリート女子は與那嶺恵理と末政実緒が出走。スタートから中国3名が飛び出し、4位に與那嶺、5位に末政となった。

注目のエリート男子は山本幸平が、

(鈴木 雷太)



山本 幸平

## 【競技結果】

第20回アジアマウンテンバイク選手権大会  
第6回ジュニアアジアマウンテンバイク選手権大会  
(2014/11/01-02 インドネシア)

## DHI Men Elite (1.5km)

- 1 SUKCHANYA Suebsakun THA 2:27.38
- 2 清水 一輝 愛知 Madison S. 2:28.85
- 3 FARR John Derick PHI 2:29.12

## DHI Women Elite (1.5km)

- 1 末政 実緒 兵庫 Unior Tools 3:00.59
- 2 PURWANINGSIH Nining INA 3:17.77
- 3 DEEKABALLES Vipavee THA 3:18.55

## XCO Men Elite (26.16km)

- 1 山本 幸平 北海道 Specialized 1:28:17
- 2 平野 星矢 長野 ブリヂストン 1:30:05
- 3 武井 亨介 茨城 チーム・フォルツァ! 1:32:29
- 4 斎藤 亮 長野 ブリヂストン 1:33:22
- 7 沢田 時 滋賀 ブリヂストン 1:34:34

## XCO Women Elite (21.9km)

- 1 SHI Qinglan CHN 1:27:21
- 2 REN Chengyuan CHN 1:33:41
- 3 YANG Ling CHN 1:36:17
- 4 與那嶺恵理 茨城 サクハク FX 1:39:36
- 5 末政 実緒 兵庫 Unior Tools 1:42:09

## XCO Men Junior (17.64km)

- 1 平林 安里 長野 白馬高校 1:06:17
- 2 GU Bingcheng CHN 1:08:30
- 3 山田 将輝 長野 Limited846 1:11:23

## XCO Women Junior (13.38km)

- 1 PHETPRAPHAN Warinorthom THA 1:04:35
- 2 中島 峻歩 山梨 北杜高校 1:05:39
- 3 DORMITORIO Ariana PHI 1:07:50

スタートから桁違いのスピードで圧勝。2位に平野星矢、3位武井亨介、4位斎藤亮が続き、7位に沢田時が入った。

オリンピックに重要なアジア選手権にて、エリート男子は狙い通り高ポイントを獲得することが出来、ジュニアも好成績で、リオデジャネイロに向けて一歩前進できた。

# 2014年BMXアジア選手権大会

全カテゴリー金メダル!



インドネシアの小さな町、シアクシリにて2014年BMXアジア選手権大会が開催された。

ツールドシアク(ロードレース)を開催するなど、サイクルイベントに力を入れているこの町に建設されたBMXコースは、アジア独特の特徴はあるものの通常のBMXコースにほど近く、日本チームにとっては有利なコース設計となっていた。

各選手、連日の猛暑に苦戦するものの、前日同会場で開催されたローカルレースへ参加し、レースに向けた最終調整を行うことができ、万全な状態で大会へ臨めた。

当日はアジア独特の短いインターバルでレースが進行する中、日本チームは7名全員が決勝へ駒を進めた。

## 女子ジュニア

3ヒート合計ポイントで行われた女子ジュニアクラスは、瀬古遥加が最初の2ヒート共に1位をとり、強豪の中国勢を抑えて2年連続のアジアタイトルを獲得した。

朝比奈綾香は惜しくも表彰台を逃し、4位で大会を終えた。

## 男子ジュニア

予選から1本も1位を譲らなかった池上悠斗が、決勝でも安定した走りで初のアジアタイトルを獲得した。

前半表彰台圏内を争っていた松村和真は、プロセクションでの失速を最終挽回することができず、5位でフィニッシュラインをくぐった。

## 男子エリート

全日本選手権を4連覇し、今年度ワールドカップでも決勝進出をしている長迫吉拓が、様々なプレッシャーに打ち勝ち、決勝でも安定した走りで日本へ2011年ぶりのエリートアジアタイトルをもたらした。

吉井康平と吉村樹希敢もそれぞれ2位、3位に入り、日本チームが表彰台を独占した。

日本チームは参戦したカテゴリー全てにおいて金メダルを獲得し、アジアを引っ張る意地を見せた大会となった。

同時に、オリンピック国別選考枠獲得に向けたUCIポイントも加算するこ

とができ、来シーズンへの弾みをつけることができた。たくさんのご声援ありがとうございました。

(チームマネージャー 三瓶 将廣)

## 【競技結果】

2014年BMXアジア選手権大会  
(2014/11/8-9 インドネシア)

### 男子U-17

- 1 長迫 吉拓 岡山 MX インターナショナル
- 2 吉井 康平 東京
- 3 吉村樹希敢 大阪

### 女子U-17 (日本人出場せず)

- 1 CARR Amanda Mildred THA
- 2 YAN Lu CHN
- 3 NA Peng CHN

### 男子ジュニア

- 1 池上 悠斗 大阪
- 2 ABDUL HAKIM Mohammad INA
- 3 PUTRA Yogi INA
- 5 松村 和真 大阪

### 女子ジュニア

- 1 瀬古 遥加 三重 Groovy Factory
- 2 YARU Zhang CHN
- 3 XIAOYAN Tong CHN
- 4 朝比奈綾香 大阪

**BRIDGESTONE**  
あなたと、つぎの景色へ



常に勝利を目指し続ける

[www.anchor-bikes.com](http://www.anchor-bikes.com)

**ANCHOR**

ブリヂストンサイクル株式会社

●専用カタログご希望の方は¥200切手を同封の上、郵送にてお申し込みください。

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3-1-1 ブリヂストンサイクル(株) スポーツ事業部 販売課 TEL. 048-772-5334

# 第45回全日本室内自転車競技選手権大会

木下・松田組 (VfH 東京 1)、最多優勝記録に並ぶ



芦田 史朗



佐藤 風沙

州では過去に国際大会を幾度も開催しており観客の目が肥えている。今年以上の大会を目指して運営にも取り組みたいと思う。(阪本 博美)

## 【競技結果】

第45回全日本室内自転車競技選手権大会  
(2014/12/20-21 大阪・ホドイメカーコロシアム)

### サイクルフィギュア男子シングル

- |   |       |             |        |
|---|-------|-------------|--------|
| 1 | 芦田 史朗 | ブルーレイクエンジェル | 107.09 |
| 2 | 中川 凱公 | ブルーレイクエンジェル | 80.35  |

### サイクルフィギュア女子シングル

- |   |       |             |       |
|---|-------|-------------|-------|
| 1 | 佐藤 風沙 | 京都産業大学      | 90.49 |
| 2 | 近藤 菜月 | ブルーレイクエンジェル | 86.50 |
| 3 | 上嶋 美音 | ブルーレイクエンジェル | 82.91 |

### サイクルサッカー

- |   |                   |             |
|---|-------------------|-------------|
| 1 | VfH 東京 1          | 木下 直也・松田 銅  |
| 2 | Star Bicycle Nara | 田中 勝也・蓑原 征也 |
| 3 | 蔵前                | 藤田 洋介・時倉 宗大 |

2014年12月20・21日、大阪・難波のホドイメカーコロシアム第2競技場で全日本室内自転車競技選手権大会が行われた。サイクルサッカーは実に45年、サイクルフィギュアは1985年の大会参加から29年の歴史を刻んできたことになる。

今大会、サイクルサッカーでは木下直也・松田銅 (VfH 東京) が2年ぶり9回目の優勝を果たし、これまでの最多優勝記録を持つ山本・松本組 (日通) に並んだ。木下・松田組は、何よりもミスのない試合展開が王者たる所以である。2位にはベテランの蓑原征也が若手の田中勝也と組んだスターバイシクル奈良、3位は上位争いの常連である藤田洋介・時倉宗大 (蔵前)。世界選手権出場の村上裕亮・岡嶋紘次 (RSV 大阪1) は初日こそ快調に折り返したものの二日目は初戦から崩れ結果は8位。彼らを擁護することになるが、村上・岡嶋組は結成して1年に満たずチームとして構築過程にあり、今年得てきた国際経験が糧になることは間違いない。日本代表選手は結果を求められる、期待もされる。しかしこの全日本選手権を制することは簡単ではない。それは歴史が物語っている。

期待された若手の台頭には至らな

かったが、第一日目には杉谷嘉紀・山下悠次郎 (関西大学1) と満留大暉・西光拳人 (大阪経済大学2) が決勝進出をかけたプレーオフに進み健闘。そこには確かな力を感じると同時に、やはり上位層の壁を崩すことが容易でないことも思い知らされた。

サイクルフィギュアでは、男子シングルで芦田史朗 (滋賀CFCブルーレイクエンジェル) が安定の演技を披露して優勝、同じクラブ所属で薫陶を受けている中川凱公が第2位となった。女子シングルでは佐藤風沙 (京都産業大学) が9度目の出場にして悲願の初優勝を果たし、同時に申請点の102.60ポイントから90.49ポイントを獲得して日本新記録を樹立した。演技には風格が漂い始めている。第2位には近藤菜月 (滋賀CFCブルーレイクエンジェル)、彼女は持ち点を飛躍的に伸ばしている選手で申請点は115.80ポイントあったが、ミスが目立ち結果は86.50ポイントの獲得だった。そして第3位に同クラブ所属の上嶋美音。近藤と上嶋はまだ10代だが、佐藤に続き、近い将来世界選手権に出場する可能性が最も高い選手である。

来る2015年度の全日本選手権大会は九州・福岡での開催が決定した。九

# UCI TRACK CYCLING WORLD CUP



2	LAW Scott	AUS	171p
3	LEA Bobby	USA	164p
20	窪木 一茂	和歌山 県庁 / チーム右京	48p

SH:17, IP:18(4:39.600), EL:16,  
TT:16(1:06.919), FL:17(13.954)

女子ケイリン

1	GUO Shuang	MSP
2	VOGEL Kristina	GER
3	LEE Hyejin	KOR
19	加瀬加奈子	JPCA JPCU 新潟
25	前田佳代乃*	京都

ケイリン決勝の渡邊  
Photo: T.Wako

## 【競技結果】

2014-15 UCIトラックワールドカップ 第2戦  
(2014/12/5-7 ｲｷﾞﾘｽ・ﾛﾝﾄﾞﾝ)

### 男子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 HOOGLAND Jeffrey NED
- 2 PUERTA ZAPATA Fabian Hernando COL
- 3 CANELON Hersony VEN
- 10 中川誠一郎 JPCA JPCU 熊本
- 29 河端 朋之\* JPCA JPCU 岡山
- 30 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島

### 男子ケイリン

- 1 BOTTICHER Stefan GER
- 2 PUERTA ZAPATA Fabian Hernando COL
- 3 VOLIKAKIS Christos GRE
- 5 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島
- 12 脇本 雄太\* JPCA JPCU 福井

### 男子ﾁｰﾑ

- 1 GAVIRIA RENDON Fernando COL 197p

### 男子ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 Germany 43.665
- 2 Team Jayco-Ais 44.113
- 3 New Zealand 43.713
- 17 JPC 河端・和田・脇本 45.686
- 22 日本 雨谷・渡邊・中川 降格

### 男子ﾁｰﾑｽｰｼﾞｮ

- 1 Great Britain 4:01.151
- 2 New Zealand 4:05.463
- 3 Denmark 4:02.248
- 20 日本 窪木・原田・一丸・倉林 4:16.449

### 女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 VOGEL Kristina GER
- 2 VOINOVA Anastasiia RUS
- 3 LIGTLEE Elis NED
- 29 前田佳代乃\* 京都
- 34 石井 貴子\* JPCA JPCU 千葉

### 女子ﾁｰﾑ

- 1 TROTT Laura GBR 193p
  - 2 D'HOORE Jolien BEL 181p
  - 3 WILD Kirsten NED 167p
  - 20 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体大大学院 58p
- SH:11, IP:19(3:50.781), EL:18,  
TT:13(37.126), FL:15(15.094)

### 女子ﾁｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ

- 1 China 33.010
- 2 Germany 33.024
- 3 Russia 33.429
- 14 JPC 石井・前田 35.074

### 女子ﾁｰﾑｽｰｼﾞｮ

- 1 Great Britain 4:22.194
  - 2 Australia 4:24.335
  - 3 Canada 4:24.188
  - 15 日本 塚越・加瀬・小島・中村 4:43.960
- \*=JPC

●同時開催のクラス1大会リザルトはP.11 参照

## < JCF オフィシャル・スポンサー >



## < オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.210 2014年12月・2015年1月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>